



# またかが

荻田町青少年育成町民会議だより

## 2010 朝の声かけ運動



10月8日（金）くもり

荻田町青少年育成町民会議では、委員による「朝の声かけ運動」を実施した。

集合時間の7時半過ぎ、各学校に黄色のジャンパーを着た委員が、校門前でお出迎え。

通学路から子どもたちが続々と足早にやってくる。「おはよう」と手を振り優しく声をかける。

「大人が変われば、子どもも変わる。」を主要テーマに、互いの個性を認めることの大切さや生命の尊さについて、「子どもたちと語り合い」「近所の子どもたちにも関心を持つて」接し、子どもたちを地域とのかかわりの中で育てていくこと。

子どもたちを見守る姿は、笑顔だが、目は周囲を注意深く見回していた。

委員のプライドと責任感がひしひしと感じられた朝のひとときだった。



みんなで 育てよう 青少年





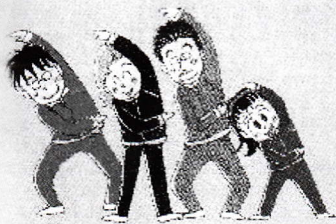
# 11月は全国青少年健全育成強調月間

全ての青少年のすやかな成長を願って…。

全国青少年健全育成強調月間  
青少年を明るくすやかに育もう  
元日青少年育成委員会

## わが家のルールを作りましょう

ルールを守るものは、  
ルールに守られる。



### ○わが家のルール10か条

1. 遊びに行く時は、「どこへ行く」「だれと遊ぶ」「何時に帰る」の3つを必ず伝えてから出かけること。
2. 外で遊ぶ時は、絶対に1人で遊ばないこと。
3. たとえ友だちといっしょでも、あぶない場所には近づかないこと。
4. 暗くなる前に帰ること。
5. 知らない人に声をかけられたら、はっきり断ること。
6. いい人に見えても、絶対について行かないこと。
7. 危険を感じたら大声を出して助けを呼ぶこと。
8. 友だちが危険なめにあったら、絶対に自分だけで助けようとせずに、大人の人を呼ぶこと。
9. 人通りの多い所や明るいお店など、安全な場所に逃げること。
10. どんな小さなことでも、変な人やあやしい車を見かけたら、親や先生に必ず教えること。

## 家庭教育講演会「優しい心が一番だよ」

小森 美登里 さん

～ いじめで死に追いつめられた  
娘のメッセージを伝えたい ～

■平成23年1月28日(金)

○会 場／荻田町立中央公民館  
第5研修室

○受 付／17:30 ～

○入場料／無 料



プロフィール

小森美登里 Midori Komori

昭和32年、神奈川県生まれ。

平成10年、当時高校入試間もない一人娘の香澄さんがいじめにより自らの人生に終止符をうつ。香澄さんの「優しい心が一番だよ」というメッセージを一人でも多くの人に伝えるべく、NPO法人「ジェントルハートプロジェクト」を夫・新一郎さんとともに立ち上げる。現在は学校を中心に、いじめや暴力のない社会づくりのために講演活動が続けている。



一般的に刑務所の目的というと、罪を犯した者に厳しい罰を与え、罪の報いを受けさせるといふことと考えるかもしれませんが、近年、刑務所の目的は、受刑者の社会復帰であると考えられており、法も明確にそのことを定めています。

鹿児島刑務所も受刑者の社会復帰をめざして、個々人の資質や

者のうち主として、実刑期10年未満で20歳以上の犯罪傾向が進んでいる者を705名ほど収容しています。

鹿児島刑務所は男子懲役受刑者のうち主として、実刑期10年未満で20歳以上の犯罪傾向が進んでいる者を705名ほど収容しています。

門だけが残り、中世ヨーロッパの城門を思わせる独特のゴシック建築様式であり、国の登録文化財に登録されています。



10月29日、  
荻田町青少年育成市民会議補導環境部の18名で鹿児島県始良郡湧水町にある鹿児島刑務所を訪問しました。この刑務所は、明治41年に建設され、石づくりの刑務所としては、わが国で最も古く、尚古集成館や五大石橋とともに、鹿児島の貴重な石造建築物であるというものでした。昭和60年に始良郡湧水町に移転され、現代では正門だけが残り、中世ヨーロッパの城門を思わせる独特のゴシック建築様式であり、国の登録文化財に登録されています。

## 補導環境部会視察研修



少年補導員  
今屋厚志

私たちも矯正作業の一部を見学しましたが、受刑者は1日でも早い社会復帰を願って真剣に作業に取り組んでいました。再び罪を犯し、入所するケースも多いと聞きましたが、作業に取り組む姿勢を見ている限りでは、更生される事は間違いないのではないかと思います。そして、私たち補導環境部会の取組みにより、このような施設へ収容されることがないように子どもたちを見守って行かなければならないと、気持ちを持ちを新たに研修を終りました。



# 平成22年度 荻田町「家庭の日」「オアシス運動」コンクール入賞作品発表

## 作文・ポスターの部

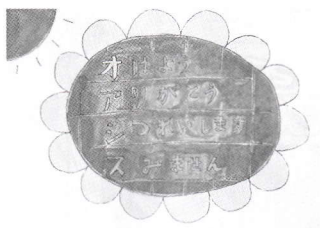
この度は、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。  
今年度は、ポスターと作文のみの募集となりました。入賞作品をご報告させていただきます。  
(敬称略、順不同)



南原小5年 金田凛太郎



馬場小4年 吉田 彩夏



南原小6年 嶋田 雄太



南原小3年 金田いろは



片島小6年 森河原優貴



馬場小4年 常盤あすか

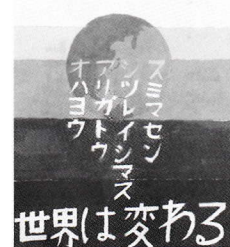


馬場小5年 吉浦 楓子



馬場小4年 長田 颯大

## あいさつで



片島小6年 森本 龍



南原小2年 北河 愛生



作文	新津中2年	荻田小6年	荻田小6年	荻田小1年	南原小6年	南原小2年	馬場小5年	馬場小5年	白川小5年	白川小3年	白川小3年
	三吉 雛子	春木 優	松永 郁実	友田雄二郎	松本 麗央	筒井 佳穂	金本 春香	江藤 博紀	黒木 七汐	田原 誠也	原 可乃歩

## あいさつのマナー

荻田小6年 春木 優

あいさつには、おあいす運動というあいさつがあります。まず、「お」は、おはようございます。というあいさつで、「あ」は、ありがとうございます。です。(ありがとうございます「し」は、しつれいします。(しつれいしました)「す」は、すみません(すみませんでした)というようないいさつがあります。ほかに、おやすみなさいやこんにちわ、いただきます、ごちそうさまなどというあいさつがたくさんあります。あいさつというのとはとても大事な言葉です。あいさつをしてもうと元気もでるしたくさんの方々の笑顔もみだせます。もし友達のおもちゃや大事にしていたものをこわしたりしてしまったときはきちんとお詫言ひしましょう。ちゃんとあやまれば相手も許してくれるけど、あやまらないでまづいてきずかされたとき許してくれないかもしれません。なのできちんとあいさつのマナーをまもらないといけません。私も実際にゲームで友達の物をかっけて使ってしまった事があります。そのとき私は、ばれないだろうと思つてあやまりませんでした。するとその友達が「かっけて使った?」と言つてきたので私は「うん、ごめんなさい」とあやまつたけど許してもらえませんでした。

## わたしのオアシス

南原小2年 筒井 佳穂

オアシスとはみなさんの毎日が楽しくすごせるようにつくられたものだと思ひます。

まず、朝起きて「おはようございます。」なにかしてもらつた時は、「ありがとうございます。」へやに入るときは、「しつれいします。」わるいことをしてしまつた時は、「すみません。」オアシスはこんな大切なみが入つてゐるのです。

わたしのいえでも、朝起きた時は、みんな「おはよう」おねえちゃんとかケンカした時は、「すみません。ごめんなさい。」おかあさん、おとうさん、おねえちゃんにしてみらつてうれしい時は、「ありがとう」とかならず言ひます。

## みんなにとどけ!

あいさつがない世の中を考えると、どうでしょうか。みんながあいさつをしなれば、朝起きて知らん顔、ケンカしてもなかなかおりができない世の中になるのです。

でも、オアシスのあいさつは、小さなこゑで言つてもあいてにきこえなければならなりません。わたしは、おかあさんから、いつも大きなこゑで、こゝろをこめて、あいてにつたわるように言ひなさいといわれてゐます。

でも、わたしは思ひます。今の若い人たちは、あいさつをする人が少なくなつてゐるので、みんながいつもあいさつをこゝろがけたら、ケンカもすくなくなくなると思ひます。気持ちのよい毎日がおけると思ひます。

わたしは、あいさつがあるからこそ、一日がはじまるし、楽しくすごせる、すてきなこゝろだと思ひます。

(原文のまま、掲載しています。)

(原文のまま、掲載しています。)





# 第10回子どもフェスティバル



→今、話題の  
「ゲゲゲの鬼太郎一家」  
上出来ヨッ!!



2010. 10. 24. あいにくの雨模様でしたが、たくさんの友だちの笑顔に会いました。  
それにより、催す側も多くの方々のご支援と力をいただき、無事終了したことを感謝しております。  
来年は、11回! 気持ちを新たに、挑戦して行きたいと思います。…ありがとう…

(子どもフェスティバル実行委員長 田口朝子)

いつの時代も  
ゴム風船は人気!



みんなで作りました。  
“バルーンの花道”



巨大ふとまき寿司  
うまく巻けたかな?

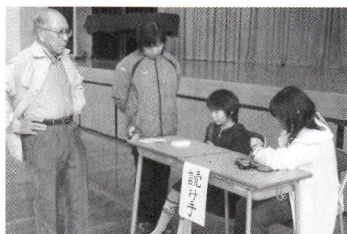


## 23年度のリーダー募集

平成23年度 荻田町  
子ども会育成連合会のイ  
ベントのリーダーを募集  
します。いろんな体験を  
通して自発性・協調性を  
促し、健全育成を目指し  
ています。



インリーダー：小学生を対象(4・5・6年)  
ジュニアリーダー：中・高生を対象



一人でも多くの方たち  
の協力・支援のもと、幅  
広く有意義な子ども会活  
動に行きたいと思っ  
ています。皆様のご協力  
をお待ちしております。

### 申し込み先

荻田町子ども会育成連合会 会長 田口朝子  
事務局 荻田町中央公民館内  
TEL 090-4589-3200  
FAX 093-434-0456

## バア～バアの一言 No.17



バア～バアが石の上に腰掛けていると、2歳くらいの子  
どもが近づいて来て可愛い言葉、やさしいしぐさ  
をします。するとバア～バアの心は穏やかになり、この子  
の未来に平和と幸多かれと願わずにいられなくなります。さら  
に「もう少し頑張ろう」と力が湧き、前に歩き出そうとしている  
私がいるのです。子どもたちから勇気と力をもらえるのです。

こんなバア～バアも齢を重ねると、「教えたい、伝えたい」と  
思うことが多すぎ、つい口説くなり嫌がられるのです。言葉の  
かけ方や支援の仕方で子どもや若者の反応は異なります、こ  
こはバア～バアも勉強せないけんところですね。自分本位に考  
えず若者の考えも聞きながら一緒に勉強し「ともに未来に羽  
ばたこう」と考えると楽しいのです。

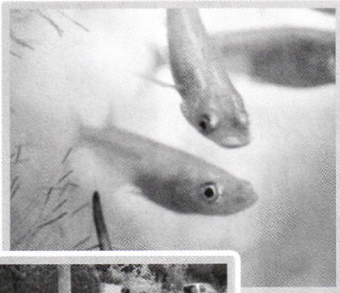
バア～バアは、これまで多くの失敗と後悔を繰り返してきま  
した。そんな経験から思うのです、「今日という日はまたと無  
い、明日を迎えるには今日が大切」、自分のなりたいもの、した  
いことはいろいろあるでしょうが、先のことばかり考えず、今  
日を大切にしたいのです。「人生は一度きり」です。

今の時代は、コミュニティ(社会)がない…と聞きますが、人  
間が居ないということかなあ?《人》の字は支えあうの意、《人  
間》は人と人の間に生きる意です。コミュニティがなければ、人  
は育ちませんよねえ。これからの子どもはどうなるんでしょう  
…。そこで昔のコミュニティづくりの極意を知っているバア～  
バアたちの番です。バア～バアたちと若者の交流の機会をつ  
くり「極意」を伝えたいものです。「あっ」…これも口説く  
なったり一方的ではいけんねえ…。 そんな時バア～バアの  
心に置いてある詩があるので紹介します。

『人に接する時は、春の暖かい心で、仕事をする時は、夏の燃  
える心で、考える時は、秋の澄んだ心で、自分に接する時は、冬  
の厳しい心で…』…「あなたはどんな心で接していますか」



## 五年生



### ホタルの放流

ホタルの学習やメダカの学習には、地域の方や大学の先生を講師にお招きして一緒に、学習や活動をしています。

できることから、少しずつ取り組んでいます。

馬場小学校では、総合的な学習の時間を使って、四年生・五年生が地域の環境について学習しています。「めだかの学習」「ホタルの放流」「馬場小グリーンキッズの環境エコ活動」を通して、地域の良さを知り大切に保護していこうとする馬場っ子を目指しています。



絶滅危惧種であるメダカを育てています。



## 四年生

馬場小グリーンキッズ隊は地域の

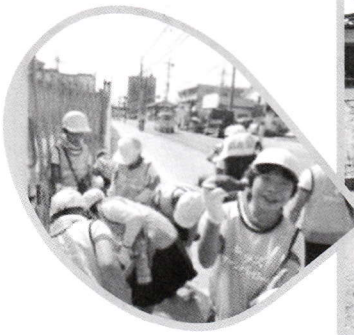
ゴミ拾いや廃品回収を行い、捨てる物の中にも資源として再利用できるものがたくさんあることを学習しました。

今年は、ペットボトルキャップを

集めて外国の子どもたちにポリオワクチンを送ることにしました。



馬場小グリーンキッズ



ゴミ拾いをするキッズ隊

### (ゴミチェック隊の感想)

☆私は、ゴミ拾いについてカンやたばこの吸いからは、ほぼ大人であることが分かりました。でも、おかしやビールは子どもでもありえることが分かりました。これからは、ポイ捨てをしないようにして荻田町が住みよい町になるようにします。

☆私は、ゴミを捨てたことがありました。それを拾ってくれていた人は、こんなに大変なことをしてくれていたのだなと思った。『ああ、なんであんなことをしたんだろう』と思うようになった。これからは、拾ってくれる人のことを考えてゴミを出さないようにしようと思います。



全校でキャップを集めています。







## 「木工あそび」

2010.10.24



カメラスケッチより



## 子どもたちと大人のふれあい広場

### 親子で室内競技

2010.8.1



## 健全育成講演会 開催

□日時 11月30日(火) 午後7時～8時30分

11/30

□会場 三原文化会館大ホール

□講師 大分市勝光寺住職

南 慧 昭 氏(南 こうせつ実兄)

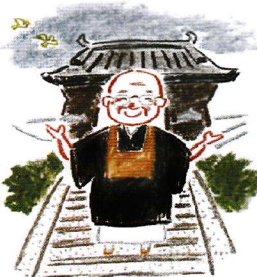
□演題 「心の健康」 ～仏心は歌心～

□対象 一般の方どなたでも

□費用 無料

□主催 苅田町青少年育成町民会議

□共催 苅田町・苅田町教育委員会



サラリーマンを定年退職してから曹洞宗の修行を積み、悩める人たちの心に「ほっとする時空を与えよう」と生まれ故郷の大分を中心に九州各地から全国へと活動しています。日本人が忘れかけている、「人に対する思いやりや有り難うの一言を言える強さを持つとう！」と歌で呼びかけます。

皆様のお越しをお待ちしております。

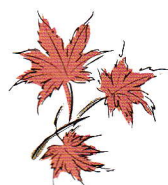
出前歌謡法  
えしやうプロジェクト

編集・発行

苅田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎ 093・434・9838



委員 濱田 玲子  
荒鬼 文子  
尾田 弘子  
金丸 晴樹  
工藤 正志

22年度すこやか編集委員

編集長 松枝 玲子

濱田勝枝  
すこやかは、まだ不慣れですが、任期の間は頑張っていきたいと思っています。  
よろしくご指導お願いします。

## 編集後記

今年度よりすこやか編集委員の仲間入りすることになり、七月九日初めて編集委員会に出席しました。編集委員長の松枝さんとは、子ども同士が同級生で、保育園からの長い付き合いです。

何十年も昔に馬場小学校の広報作りで一緒に足を運び、何度も校正を練り、やっとなんが出来上がった時の達成感・安堵感を懐かしく思い出されます。